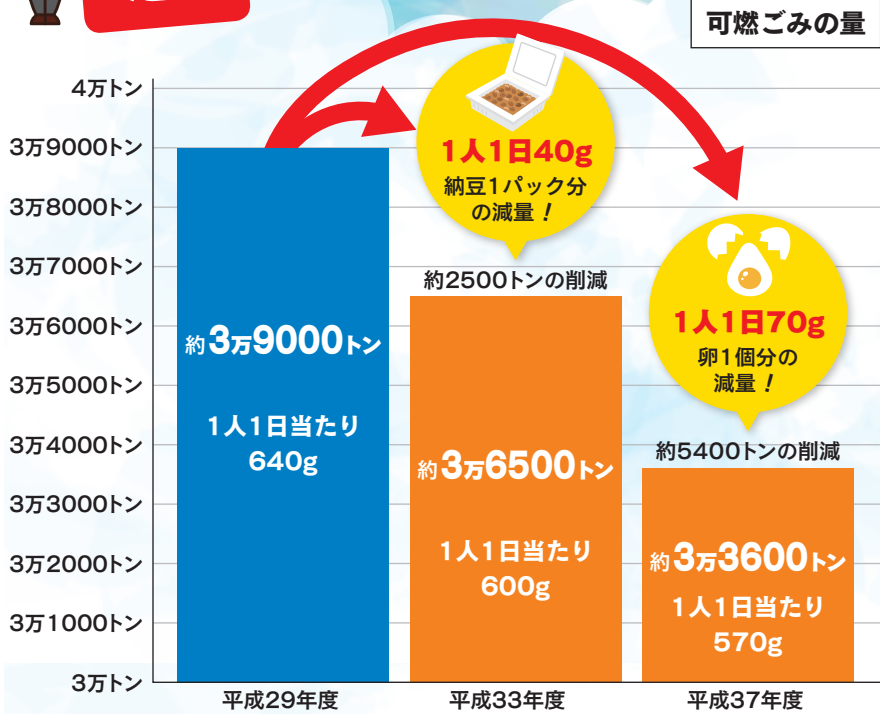


緊急 可燃ごみの減量が必要です!



ごみの**有料化**の検討も…

平成37年度末までに、現在稼働中の伊勢原清掃工場焼却施設の稼働を停止し、その後ははだのクリーンセンター1施設での焼却体制に移行する予定です。中間目標年度である平成33年度時点で、ごみの減量が計画通り進んでいない場合、ごみ排出量に応じた負担の公平性と排出抑制の観点から、ごみの有料化を含めて検討します。



目標達成のためにご協力下さい

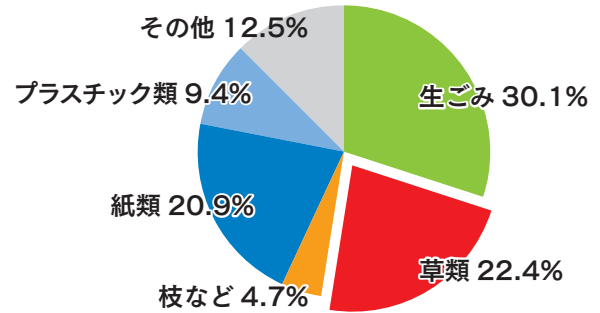
- No.1** 草類の資源化
- No.2** もう一度**資源の分別**を
- No.3** 家庭でできる**生ごみ資源化**



草類の資源化開始!

家庭から出る可燃ごみのうち、生ごみに次いで多い草類。これを分別収集することで、平成30年度の目標は**年間1000トンの可燃ごみ減量**を目指します。収集した草類は木質系粗大ごみなどと合わせてチップ化し、燃料などにします。今年6月から本町、東、北地区(分別カレンダーの回収地区で本町A、本町B、東A、東B、北)で草類分別収集を先行で開始しました。**来年度から市内すべての地区**で草類の分別収集を行います。

可燃ごみに入っているもの



回収できない混合ごみ



プラスチック類などが混入する

紙類が混入する

1 回収対象となるもの

草、切り花、落ち葉、竹(直径50cm、長さ40cm以下に束ねる。)生ごみなどの可燃ごみの混入があると回収できません。

2 収集日

- ・可燃ごみの収集日が**月曜日と木曜日**の地区にお住まいの方
→月曜日が可燃ごみだけを、**木曜日が草類と可燃ごみを出せる日**となります
- ・可燃ごみの収集日が**火曜日と金曜日**の地区にお住まいの方
→火曜日が可燃ごみだけを、**金曜日が草類と可燃ごみを出せる日**となります

3 出し方

① 土を払う

※先に乾燥させると土が落としやすくなります。



② 乾燥させる

※天日干しが効果的。雨が予想される場合には袋に入れて口を開けておくだけでも乾燥します。



③ ごみステーションに出す

※できるだけ可燃ごみと草類を分けて出してください。



4 よくある質問

- Q 土は完全に落とさないといけないの?
A 土が付いていると、資源化する時に、不純物となるので、できるだけ土を落としてください。
- Q どのくらい乾燥させるの?
A 可能な限り乾燥させてください。晴れた日1日でも効果があります。

- Q 剪定枝は草類として出しているの?
A 剪定枝は今までどおり、剪定枝の日に出してください。
- Q 少量でも分けて出すの?
A 少量でも草類は分けて出してください。
- Q 一度に大量に草類が出してしまったら?
A 大量に出る場合は、日を分けて出してください。

5 先行実施の実績

6月中に本町、東、北地区で収集し、資源化した草類は**約82トン**で、概ね計画どおりの回収ができました。月・火曜日の可燃ごみの収集日に出されていた草類、また、可燃ごみとの分別ができていない草類には貼り紙をして周知しています。引き続き分別収集にご協力ください。